

**講座
19**

道の歴史 あれこれ ～古代、鎌倉・江戸時代～

【定員】60名 【受講料】 2年会員5,720円 1年会員6,435円 聴講生8,580円

『歴史・文学・人間学』 交流館協力（歴史） 【時間】 毎回14時00分～15時30分

概要

歩く道は、日常的に行き来する道と遠隔地を往来する道とに分けられる。この講座では、川崎という地域そして川崎宿を念頭に置きながら、後者の街道と称されるようなさまざまな道に関し、古代から江戸時代までの歴史と、そのときどどのように利用されてきたのかについて考えてみたい。

回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/11(水)	東海道 かわさき宿 交流館	古代相模国と武蔵国を結ぶ交通路	古代交通研究会会長 佐々木 虔一
2	10/18 (水)		鎌倉街道について	東京学芸大学名誉教授 木村 茂光
3	10/25 (水)		浮世絵にみる東海道・中山道	淑徳大学客員教授 小澤 弘
4	11/1 (水)		箱根関所と江戸の旅	前・箱根関所所長 大和田 公一
5	11/8(水)		江戸時代の交通体系と物資輸送ー川崎市域の水運と脇街道ー	近畿大学名誉教授 胡桃沢 勘司
6	11/22(水)		大山街道・大山詣	成城大学名誉教授 田中 宣一

備考

8月2日予定講師の都合がつかなくなり講師変更

|